

平成22年4月19日現在

研究種目：基盤研究(A)
研究期間：2007～2010
課題番号：19209065
研究課題名(和文) 看護理工学を基盤としたトランスレーショナルリサーチシステムの構築とその評価
研究課題名(英文) Development and evaluation of translational research system based on nursing engineering
研究代表者
真田 弘美 (SANADA HIROMI)
東京大学・大学院医学系研究科・教授
研究者番号：50143920

研究分野：医歯薬学
科研費の分科・細目：看護学・基礎看護学
キーワード：看護管理学

1. 研究計画の概要

本研究は、看護理工学という新しい視点から看護技術を開発し、臨床研究を迅速に行うために、看護系大学と病院とのコラボレーションを担うコーディネーターを育成するという看護学独自のトランスレーショナルリサーチのシステムを構築し、その評価を行うことを目的とする。

2. 研究の進捗状況

新たな技術開発のための R and D を3つのテーマ(1)褥瘡部感染早期アセスメント用マイクロチップの開発とその評価、2)生活習慣・症状モニタリングデバイスに関する TR 実践とその評価、3)産後女性の Body-Reconstruction プログラムの開発とその評価)で開始し、それぞれ基礎的な解析を終えたところである。最終年度はそれらの成果を臨床へ応用し、社会への還元を図る。

また、トランスレーショナルリサーチを臨床で潤滑に行うためのコーディネーター養成の課程を開発し、その改善点を明確にした。さらに、病院で研究成果を広めるための障壁を明確にし、研究の展開様式の方向性を探索した。これにより、看護の質の向上を目指す。

3. 現在までの達成度

当初の計画通り課題を達成している。

(理由)

各研究班とも、トランスレーショナルリサーチの基盤となる基礎研究について着実に成果を上げている。また、トランスレーショナルリサーチコーディネーターの養成課程を開発し、実際に適応を行っている。すでに

数名のコーディネーター養成課程修了者を輩出しており、また、課程の問題点を明確にしていることから、さらなる質の高いコーディネーターの養成が可能となる。さらに、病院で研究成果を広めるための基礎調査を行い、新たな技術を拡大していく際に障害となる要因を明らかにすることができた。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度の取りまとめに向けて、これまでの研究成果を統合すべく班員が協働してプロジェクトの推進に当たる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計4件)

Nakagami G, Sari Y, Nagase T, Iizaka S, Ohta Y, Sanada H. Evaluation of the usefulness of skin blood flow measurements by laser speckle flowgraphy in pressure-induced ischemic wounds in rats. Ann Plast Surg. 2010;64(3):351-4. 査読有

Kato N, Kinugawa K, Ito N, Yao A, Watanabe M, Imai Y, Takeda N, Hatano M, Kazuma K. Adherence to self-care behavior and factors related to this behavior among patients with heart failure in Japan. Heart Lung. 2009;38(5):398-409. 査読有

Nakagami G, Sanada H, Sugama J, Morohoshi T, Ikeda T, Ohta Y. Detection of Pseudomonas aeruginosa quorum sensing signals in an infected ischemic wound: an experimental study in rats. Wound Repair Regen. 2008;16(1):30-6. 査読有

[学会発表](計9件)

Nakagami G, Sanada H, Sugama J, Morohoshi T, Ikeda T, Ohta Y. Detection of Pseudomonas aeruginosa quorum sensing signals in an infected ischemic wound: an experimental study in rats. The 20th annual symposium on Advanced Wound Care and the Wound Healing Society Meeting. 2008/5/1, Florida.

[図書](計3件)

Nagase T, Sanada H, Nakagami G, Sari Y, Minematsu T, Sugama J. Bioengineering Research of Chronic Wounds. Springer, 2009.301-342.